

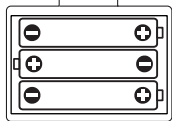


## 各部の名称

### ■ 本体正面



### 電池カバーを開けた図



※(+) (−) の方向を正しく入れてください。

## ご使用方法とご注意

### ■ 時計を設定する

#### 電池を入れます。(アルカリ電池推奨)

- ① 電池の表示に従い、電池の(+) (−) 方向を間違えないように(−) 側から完全にはめ込んでください。

#### 注 意

- (+) (−) を逆に入れますと本製品は動きません。又、故障の原因になります。
- 電源が入ると全画面表示され、同時にバックライトが数秒間点灯し、電子音が鳴った後、初期受信を開始します。
- 受信中は、電波マークが点滅し、受信している周波数(40または60)が表示されます。
- 受信開始から受信完了まで、最長で約4分かかります。
- 電波受信中は「戻る/受信」ボタンと「スヌーズ/ライト」ボタン以外の操作は無効となります。
- 受信を中止させる場合は、受信中に「戻る/受信」ボタンを電波マークが消えるまで(1回または2回)押すと受信を強制的に終了させます。
- 受信に成功すると電波マークが点滅から常時表示に変わり受信した時刻を表示します。
- 受信できなかった場合は、電波マークが消え、自動受信を行う前の時刻を表示します。「受信しづらい、誤った時刻を表示した場合」をご参照ください。

### ■ 自動電波受信機能

- 自動電波受信とは、あらかじめプログラムされている時刻になると、自動的に受信動作を行い、自動で時刻を修正することを言います。この時計で1日最大5回(AM1:00、2:00、3:00、4:00、5:00)行います。
- ※AM3:00の時点で一旦受信成功すると翌日の受信時刻まで受信しません。

### ■ 自動電波受信以外で受信させる(強制受信)

- 任意に電波受信させる機能です。「戻る/受信」ボタンを長押しすると、強制受信を始めます。
- ※受信を中止させる場合は、受信中に「戻る/受信」ボタンを電波マークが消えるまで(1回または2回)押すと受信を強制的に終了させます。
- 受信に成功した場合、受信した時刻を表示します。
- 受信できなかった場合は、電波マークが消え、自動受信を行う前の時刻を表示します。「受信しづらい、誤った時刻を表示した場合」をご参照ください。

#### 受信しづらい、誤った時刻を表示した場合は

- ① 夜間は昼間と比べて電波ノイズが減少し、電波受信状況が良くなるため、一昼夜そのままにして様子を見てください。※1日に最大5回の電波受信を行います。
- ② 後記「使用場所について」をご確認いただき、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度上記1~2を行い、再度受信を行ってください。

### ■ 自動受信OFF機能

- 「スヌーズ/ライト」ボタンを5秒以上長押しすると「OFF」と表示された後、節電のため自動受信がオフになります。「戻る/受信」ボタンを2秒間長押しすると、自動受信が再開されます。

### ■ 手動で任意の時間を設定する

- ① 「時刻合わせ」ボタンを長押ししてください。
- ② 「時」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「時」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ③ 「分」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「分」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ④ 「秒」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンを押すと0秒表示となります。「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ⑤ 「年」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「年」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ⑥ 「月」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「月」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ⑦ 「日」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「日」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押すと、時間とカレンダーの設定は終了となります。
- ※設定時に「進む」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ増加し、2秒以上長押しすると早送りができます。
- ※設定時に「戻る/受信」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ減少し、2秒以上長押しすると早戻りができます。
- ※曜日は設定された日にちによって自動的に変更されます。※約20秒ボタン操作が無い場合、設定モードは自動的に終了し、設定値が保存されます。
- ※手動で設定された場合、電波マークは表示されません。

### ■ 12/24時間制の設定をする

- 通常時間表示画面で「進む」ボタンを1回押すと、12/24時間制の切り替えができます。

### ■ アラームを設定する

- ① 通常時間表示画面で「アラーム合わせ」ボタンを長押しします。カレンダーの「月・日」表示がアラーム時刻表示に変わり、アラーム時刻の「時」が点滅します。
- ② 「進む」または「戻る/受信」ボタンで「時」をセットし、「アラーム合わせ」ボタンを押してください。
- ③ 「分」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「分」をセットし、「アラーム合わせ」ボタンを押すと、アラーム時刻の設定は終了となります。
- ※設定時に「戻る/受信」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ減少し2秒以上長押しすると早送りができます。
- ※設定時に「進む」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ増加し2秒以上長押しすると早送りができます。
- ※約20秒間ボタン操作が無い場合、設定モードは自動的に終了し、設定値が保存されます。

### ■ アラームのON/OFFを設定する

- 「アラームON/OFF」スイッチでアラームのONとOFFを設定できます。
- ※アラームがONの場合、カレンダーの「月・日」表示がアラーム時刻表示に変わり、アラームマークが表示されます。

### ■ スヌーズ機能について

- ① アラームが鳴っている間に「スヌーズ/ライト」ボタンを押すと、アラームが一旦止まり、約5分後に再び鳴り出します。
- ※スヌーズ起動中は、スヌーズマークが点滅表示されます。
- ※スヌーズ起動中は時刻合わせもしくはアラーム時刻合わせは無効となります。
- ※何も操作しないと、5分後にアラームが止まります。
- ② スヌーズを解除する場合は、時計本体正面のアラームON/OFFスイッチをOFFにしてください。

### ■ 温湿度計について

- 温度が−9.9℃より低温の場合は、LLと表示され、59.9℃を超える場合は、HHと表示されます。
- 湿度が20%未満の場合は、LLと表示され、95%を超える場合は、HHと表示されます。

### ■ 電池切れ通知機能について

- 電池残量が少なくなると、電池切れ通知マークが点灯しますので、お早めに電池交換をしてください。

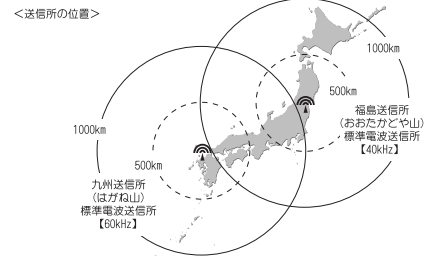
### ■ バックライトについて

- 「スヌーズ/ライト」ボタンを押すと、液晶画面のバックライトが約5秒間点灯します。

## 電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福島県の「おおかたや山」(40kHz)と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山」(60kHz)の2か所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は発信所から1,000~1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合もございます。その場合はクォーツ時計として製品仕様に記載された精度で動作します。



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。

独立行政法人情報通信研究機構 <https://www.nict.go.jp/>

日本標準時プロジェクト <https://jty.nict.go.jp/>

※送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。

※上記のURLは予告なく変更される場合があります。

## 使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)。
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。

標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので海外では電波時計としては使用できません。又、日本と時差のある諸外国で使用する場合は、まれに日本表示時刻電波を受信して、日本の時刻を表示する場合があります。

